

銚子市公立保育所再編方針（案）説明会 第三保育所保護者 概要

- 1 日時 令和2年1月10日（金） 午後4時から午後5時
- 2 場所 第三保育所 遊戯室
- 3 参加者

第三保育所保護者	事務局職員	合計
5名	3名	8名

4 概要

- (1) 事務局職員紹介
- (2) あいさつ（山口子育て支援課長）
- (3) 内容説明（神崎課長補佐）
- (4) 質疑応答

【保護者】

子どもの数は減っているが、保育所を利用する児童は大きくは減っていない。子どもの数の減少イコール、ニーズが無いということではないと考えるが。

【事務局】

0歳、1歳児、2歳児の入所への対応は重要と考えている。

少子化が大きく回復するというのは、現時点では考えにくい。今後年長児クラスであっても、7人か8人という少人数になってしまう。ある程度の人数でクラスを運営することが重要と考える。

【保護者】

特定妊婦の方が増えているので、公立保育所の役割は大きいと思う。そのような方に保育士の時間や能力が使われたりするので、公立保育所でないと手厚くできないと思うので、大切。良い形で残していただきたい。

【事務局】

先ほど、民間にできることは民間でという考えの民間活力の活用について説明した。その一方で、公立保育所の役割の重要性があり、残す意義があると思う。

【保護者】

この案のとおり、再編を進めていくとなると、徐々に入所児童を減らしていくのか。

【事務局】

募集停止ということではなく、他の保育所に移っていただくことを前提に受け入れする。公立幼稚園は募集停止という方法をとっていたが、保育所は直前まで受け入れをする。

意見

- 自宅の近くに保育所があることも、低年齢のお子さんにとってはメリットと言える。子どもが減っても保育所が数多くあった方が良いと思う。